

ブリプラチノ®注 10mg、25mg、50mg の治療を受けるあなたへ



監修
県立愛知病院 名誉院長
医療法人 丸茂病院 特別顧問
有吉 寛

目 次

I. はじめに

| | |
|-------------|---|
| この冊子の目的 | 1 |
| がんを理解するために① | 2 |
| がんを理解するために② | 3 |
| 抗がん剤って何？① | 4 |
| 抗がん剤って何？② | 5 |

II. ブリプラチ[®]とは

| | |
|-------------------------------------|---|
| ブリプラチ [®] とはどんな薬？ | 6 |
| ブリプラチ [®] はどうやって使うの？ | 7 |
| ブリプラチ [®] はどんながんの治療で使われるの？ | 7 |

III. ブリプラチ[®]の安全な治療を受けるために

| | |
|----------------------------------|----|
| ブリプラチ [®] の安全な治療を受けるために | 8 |
| 注射時にはこんな症状に注意！ | 9 |
| ブリプラチ [®] にはどんな副作用があるの？ | 10 |
| 過敏反応（アレルギー症状） | 11 |
| はき気・おう吐 | 12 |
| 腎機能障害 | 13 |
| 肺障害 | 13 |
| 骨髄抑制 | 14 |
| 神経毒性 | 15 |
| 脱毛 | 16 |
| その他の副作用 | 17 |
| 副作用を軽くさせるために | 19 |

IV. 付録

| | |
|----------------------|----|
| チェック！ こんな時は我慢しないで連絡を | 20 |
| 治療の記録 | 21 |

この冊子の目的

がんの治療には大きく分けて二つの治療法があります。一つは目に見えるがんを取り除いたり（手術）、放射線で目に見えるがんを破壊したり（放射線療法）する治療法であり、もう一つは局所のがんばかりでなく、体の他のところにまで広がっているがんをお薬で治療する治療法です。前者はがんの局所療法であり、後者はお薬が血液にのって全身にゆきわたる治療法ですからがんの全身療法と言えます。その全身療法に使うお薬の代表の一つがブリプラチニン[®]（一般名：シスプラチニン）です。

この冊子はブリプラチニン[®]の治療を必要とする患者さんにブリプラチニン[®]をよく理解していただき、安全な治療が行われることを支援する目的で作成しました。ただし、この冊子はブリプラチニン[®]のガイドブックですから、専門的な助言を表すものではありません。ここに書かれていることが理解できなかったり、不安に思うことや少しでも疑問に思うことがあれば遠慮なく医療スタッフ（医師、薬剤師、看護師）にご相談ください。

がんを理解するために①

私たちのからだは脳、肺、心臓、胃、腸、肝臓、すい臓、じん臓・・・・などなどたくさんの臓器がありますが、それらの臓器はそれぞれ特徴的な多数の細胞からできています。これらの細胞数の合計は普通の成人で約 60 兆個といわれています。これらの細胞は人の一生と同じように、新たに細胞が生まれたり、死んだりすることを繰り返しています。この生き死にの過程でいろいろな発がん物質（タバコに含まれる発がん物質、放射能など）の影響を受けたり、あるいは他の要因によりがん細胞が生まれると考えられています。がん細胞は一つが二つになり、さらに四つに分裂しながら無限に増える性質を持ち、大きながん細胞のかたまりの「がん」になります。さらに厄介なことに、このがん細胞は血液やリンパ液にのって、がん細胞が生まれた場所（原発巣）から遠くの臓器に移って大きくなる性質があります。これががんの転移です。したがって、がんの性質は ①無限に増えること、②転移すること の二つにまとめることができます。こうしたがんの性質のために、もし、がんをそのまま放置したらがんは非常に大きく成長し、体のあちこちに広がり、人の命の営みを侵して、死に至らしめます。がんのことを悪性腫瘍とも言いますが、それはこうした悪質な性質をもった細胞のかたまり（腫瘍）という意味に由来します。

がんを理解するために②

また、がんは最初にできた臓器の名前で呼ばれますから、胃にできたがんは「胃がん」、肺にできたがんは「肺がん」、乳房にできたがんは「乳がん」と呼ぶのは皆さんご承知の通りですが、多くの方々が誤解しているのは転移をした場合の呼び方です。たとえば、胃がんが肺に転移すると肺がんと思われていることをしばしば耳にしますが、胃がんはどこに転移しても胃がんですし、肺がんは肝臓や骨に転移をしても肺がんです。これはお薬によるがん治療の場合に重要ですから、是非覚えておいてください。なぜなら、胃がんが肺に転移をした時には肺がんではなく、胃がんのお薬で治療をしなければなりませんし、肺がんが肝臓に転移したら、肝臓がんのお薬による治療ではなく、肺がんのお薬の治療が必要になるからです。



抗がん剤って何？①

がんは最初は胃がんならば胃の局所の病気、肺がんは肺の局所の病気かもしれません、次第に全身に広がるのですから全身病として理解し、全身にいき渡るお薬の治療がどうしても必要となります。こうしたお薬は悪質な性質をもつがん細胞を破滅させるか、がん細胞の活動をおとなしくさせる力が備わっていることが必要になります。こうした性質をもつお薬を抗がん剤と呼び、抗がん剤によるがん治療をがん化学療法と呼びます。ただ、抗がん剤はがん細胞のみに作用することが望ましいのですが、正常な細胞にも影響します。これが抗がん剤の副作用につながります。言い換えれば、抗がん剤は副作用を避けることができませんので、その対策が非常に重要になります。



抗がん剤って何？②

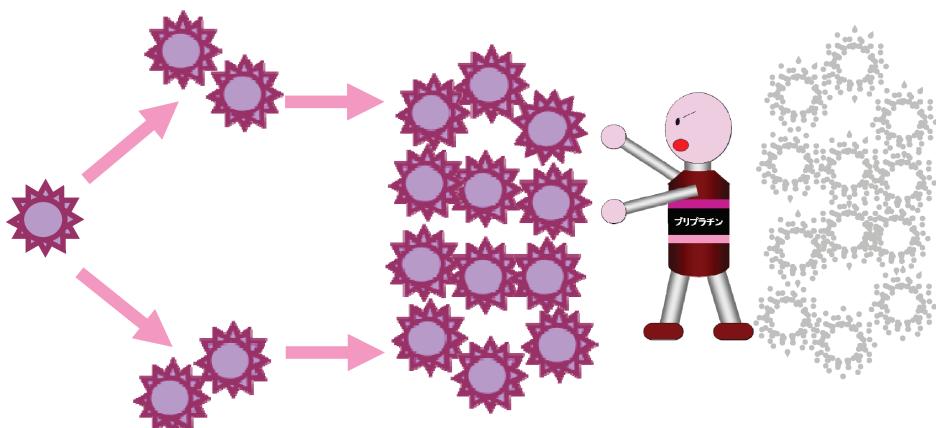
抗がん剤には色々な種類があり、その効果は治療するがんの種類によっても異なります。胃がんに効くからといって肺がんに効くとは限りません。また、現時点では抗がん剤が効くかどうかは使用してみなければわかりませんが、その効果があらかじめわかるようになる研究がいろいろ進められています。さらに、抗がん剤の副作用はお薬の種類によっても異なりますが、この面でもあらかじめ副作用を推定することが研究課題になっており、一部の抗がん剤ではすでに医療現場で応用されています。

抗がん剤治療を理解するにはどの臓器の癌を治療するのか、どの程度の効果が期待できるのか、そして、その抗がん剤はどのような副作用を引き起こすことが予測されるかを理解する必要があります。



ブリプラチニ[®]とはどんな薬？

ブリプラチニ[®]（一般名：シスプラチニ）1970年代に開発された抗がん剤で白金を含む（白金製剤）ことが特徴です。ブリプラチニ[®]はがん細胞が分裂して増えることを抑えて、結果としてがん細胞を死滅するように働きます。ブリプラチニ[®]は多くのがんに有効で、他の抗がん剤と一緒に使用することでブリプラチニ[®]が開発される前と比較してがん化学療法の成績を一段と高めたお薬です。30年以上前に開発されたのに、今でもいろいろながんの抗がん剤治療の中心的なお薬で、そのほとんどが対象となるがんの標準的治療となっているという事実はこのお薬の大きな意義を物語っています。このことからもブリプラチニ[®]に関する知識をしっかりと持つことは非常に大切なことです。



ブリプラチニ[®]はどうやって使うの？

ブリプラチニ[®]は静脈から点滴される注射剤です。その点滴がどのようなスケジュールで行われるかはがんの種類や、他に組み合わせて使われる抗がん剤との関係で決まってきますが、概ね3週間、または4週間毎に1回点滴されることが一般的です。その詳しいスケジュールについては予め医療スタッフ（医師、薬剤師、看護師）から説明を受けて下さい。

ブリプラチニ[®]はどんながんの治療で使われるの？

日本は保険医療ですからブリプラチニ[®]もその適応症が定められています。その適応症のがんの患者さんの治療に用いられます。あなたのがんの種類とブリプラチニ[®]の適応症については主治医におたずねください。

ブリプラチ[®]ンの安全な治療を受けるために

ブリプラチ[®]ンによる治療は他のがん化学療法と同じく専門性が高く、がん化学療法の経験が深い医師や、がん専門病院において治療を受けられることが薦められます。しかし妊娠をしている、あるいはその可能性がある女性患者さん、白金にアレルギーがある患者さんなどはブリプラチ[®]ンによる治療はできません。

あらかじめ医師や看護師などの医療スタッフに伝えておくこと

- 肝臓や腎臓の病気をもっている。
- 現在風邪をひいている。
- 現在みずぼうそうになっている。
- 耳が聞こえにくくなっていたり、耳鳴りがする。
- 他の薬による治療や放射線治療を受けている。
- 妊娠、または妊娠している可能性がある。
- 現在、授乳中である（乳児に影響があります。）

※ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。
さらに詳しく知りたいときは、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

注射時にはこんな症状に注意！

注射液が血管（静脈）の外に漏れてしまうと、
注射部位が硬くなったり、腫れて痛みを感じることがあります。ですから点滴中は薬液が漏れないように注意することが大切です。

もし、点滴中に次のような症状を感じられた場合にはすぐに医師や看護師に知らせるようにしましょう。

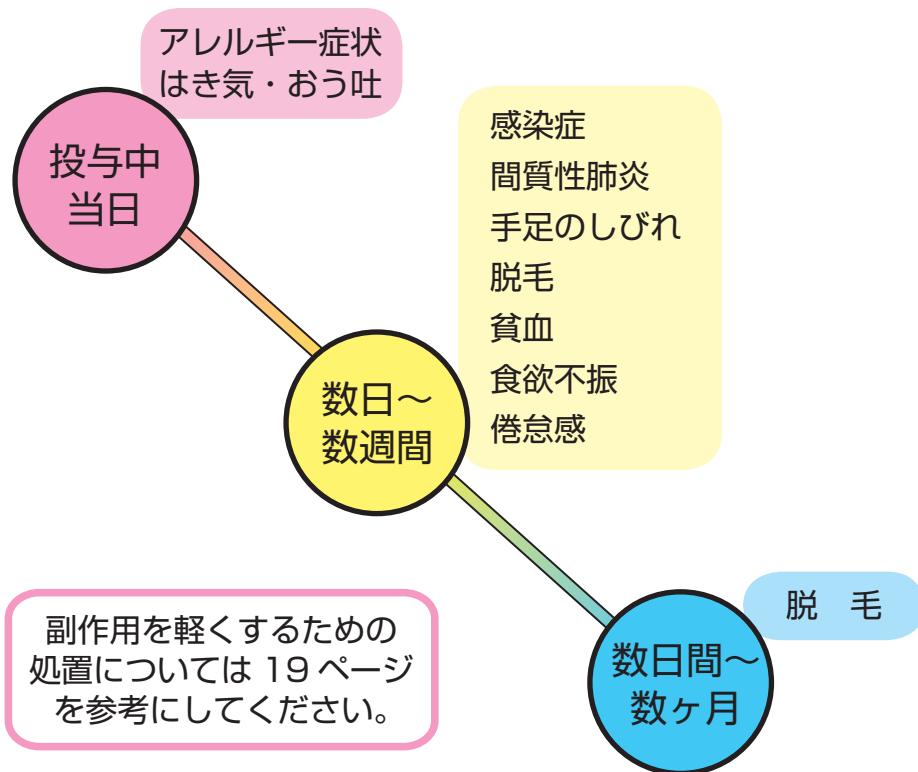
こんな時は医師や看護師に連絡を

- 注射部位に痛みや灼熱感がある。
- 注射部位に違和感がある。
- 注射部位の周辺がはれている。
- 注射部位の周辺が赤くなっている。



ブリプラチノ[®]にはどんな副作用があるの？

ブリプラチノ[®]は非常に重要な抗がん剤ですが、いろいろな副作用もありますから、その知識を持つことも大切です。以下にブリプラチノ[®]を注射した後に経験する可能性のある主な副作用を時間経過の順に示し、その対応策にもふれます。



※ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。
さらに詳しく知りたいときは、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

かびんはんのう

過敏反応（アレルギー症状）

稀にブリプラチ[®]の点滴中に息苦しさ、胸の痛み、動悸、顔のほてりなどを感じことがあります。それはブリプラチ[®]の過敏反応の可能性がありますから、直ぐに医療スタッフに告げて下さい。適切な対応がとられます。

こんな時は医師や看護師に連絡を

- | | |
|------------|---------|
| ●息苦しい | ●顔がほてる |
| ●胸が痛い | ●汗が出る |
| ●心臓がドキドキする | ●発しんが出る |



はき気・おう吐

ブリプラチ[®]ンの最も頻度が高い副作用で、点滴後数時間以内にはき気とおう吐が起こってきます。さらに、それが数日間続く場合もあります。このはき気やおう吐のためにブリプラチ[®]ンの点滴前にセロトニン受容体拮抗剤とステロイドを予め一緒に投与することにより、現在では80%以上でその防止に成功しています。また、数日続くはき気、おう吐にも非常に有効な薬剤が開発されています。ブリプラチ[®]ンによるはき気・おう吐は精神的な予測も大きく影響しますから、向精神薬の使用も考慮すべきことかもしれません。このはき気・おう吐は食欲不振やだるさにもつながりますから、臭いの強いものや、脂っこい食物は避け、あっさりとした食事を少量摂って、胃内容物を少なくしておくことが薦められます。

こんな時は医師や看護師、薬剤師に連絡を

- おう吐が続き、水も飲めない。
- 長期にわたってはき気が続く。
- 処方されたはき気止めがおう吐のために服用できない。

はき気・おう吐を防いだり、軽くするために、また食事がとれないときに病院では下記のような薬を使うことがあります。

■はき気止め ■ステロイド剤 ■栄養剤

日常生活のワンポイントアドバイス

- においを不快に感じるものは近くに置かないようにしましょう。
- 食べたい物、食べられるものを少量ずつ食べましょう。
- 熱いものはにおいが強いので冷ましてから食べましょう。
- 脂っこいものは避け、喉ごしのよいものを食べましょう。

※ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。
さらに詳しく知りたいときは、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

じんきのうしうがい

腎機能障害

腎臓の働きが悪くなり、からだの中の捨てなければならないものや余分な水分が、血液の中にたまってしまう状態のこと。

ブリプラチニ[®]は腎機能障害を起こすことが知られています。その対策としてブリプラチニ[®]の点滴前後で多量の点滴（一般的に約3リットル前後）を行います。この点滴で腎機能障害は防止できますが、一方、この多量の点滴を必要とするため、ブリプラチニ[®]を含んだ外来でのがん化学療法が難しい原因にもなっています。また、尿量が予定より少ない時には利尿剤も使用します。なお、予めクレアチニクリアランスという腎機能検査を行い、その低下が見られる患者さん（高齢者が多い）にはブリプラチニ[®]を使用しないことがあります。

肺障害

肺の細胞が抗がん剤により障害されることで、発熱やせき、呼吸困難などが生じること。

ブリプラチニ[®]はまれに間質性肺炎の原因になることがあります。初期症状には微熱や咳などがあります。間質性肺炎の疑いがある場合はレントゲンやCTによる検査を行います。治療にはステロイド大量療法などがあります。

こんな時は医師や看護師、薬剤師に連絡を

下記の様なかぜに似た自覚症状がある場合

●せき ●発熱 ●息切れ ●倦怠感

III. ブリプラチ[®]の安全な治療を受けるために

こつすいよくせい 骨髓抑制

赤血球、白血球、血小板を作る骨髓の機能が抑えられる状態のこと。

他の多くの抗がん剤と同様にブリプラチ[®]においても生じる可能性があります。赤血球が非常に少なくなった時には輸血、白血球が非常に少なくなった時にはG-CSF製剤の注射、血小板が非常に少なくなった時には血小板輸血を行います。一般的に赤血球の減少（貧血）は点滴から3か月程度経ってから、白血球や血小板の減少は点滴から2週間前後経ってから経験されますが、ブリプラチ[®]だけではそれほど頻度が高くはありません。

こんな時は医師や看護師に連絡を

| | |
|---------|------------|
| ●熱がある | ●咳が出る |
| ●さむけがする | ●排尿時に痛みがある |
| ●のどが痛い | ●トイレが近い |



※ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。
さらに詳しく知りたいときは、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

しんけいどくせい
神経毒性

神経細胞が抗がん剤の影響を受け、手足のしびれや感覚障害、聴覚・味覚の異常、めまいなどがおこること。

ブリプラチニ[®]を多数回使用すると手足のしびれや、耳が聞こえ難くなることがあります。この場合は症状を感じたら医療スタッフに告げて下さい。ブリプラチニ[®]の使用量などが考慮されます。

手足のしびれを防ぎ、重くならないために

病院では下記のような薬を使うことがあります。

■ビタミン剤 ■鎮痛剤 ■漢方薬

■グルタミン（アミノ酸の一種です）

日常生活のワンポイントアドバイス

- 重いものはなるべく持たないようにしましょう。
- ころばないように注意しましょう。
- つらい時は無理せず、家族の方に手伝ってもらうようにしましょう。



だつもう
脱毛

ブリプラチナでも脱毛が目立つ時があります。特に目立つ場合は女性にはかつらの使用をお薦めしますが、治療終了後3～10ヶ月を経て再び毛髪が生えてきます。

脱毛 Q&A

Q. どこの毛が抜けるの？

A. 頭髪だけではなく、眉毛、まつげなど、すべての体毛が抜けることがあります。

Q. もとどおりになるの？

A. 約半年後には、ほぼ元通りになります。新しく生えてきた毛の質が一時的に変わってしまうことがあります、やがて以前の髪質に戻るとされています。

日常生活のワンポイントアドバイス

- 毛先の柔らかいブラシを使いましょう。
- シャンプー液は中性の刺激の少ないものを使いましょう。
- パーマやヘアカラーは控えましょう。
- 毛髪が散乱しないためにナイトキャップやバンダナを活用しましょう。
- ガムテープなどをを利用して抜け毛を掃除し、ベッドサイドを清潔に保ちましょう。
- 容姿が気になる場合、あらかじめ帽子やカツラなどを用意しておくとよいでしょう。
- あらかじめ毛髪を短めにカットしておくのもよいでしょう。

※ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。
さらに詳しく知りたいときは、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

その他の副作用

その他いろいろな副作用の可能性がありますので、医療スタッフにいつも密に接することが大切です。遠慮は禁物です。

日常生活では次のような点に注意しましょう。

| | |
|------|---|
| 貧 血 | 安静を保ちましょう。 |
| | 動悸、息切れが起きないよう、激しい動作はひかえましょう。 |
| | 手足が冷たく感じるときは靴下をはくなど保温に努めましょう。 |
| 食欲不振 | 食欲不振が長く続き、食事・水分摂取ができないときや、腹痛、腹部の張り、頭痛・発熱・脱力感がひどい場合は、医療スタッフに相談しましょう。 |
| | 気分の良いときに、好きな物を食べるようしましょう。 |
| | 高タンパク質で栄養価の高い食品をとりましょう。 |
| 倦怠感 | 食欲不振、めまい、動悸、貧血などの身体症状が持続し改善がみられないときや、不安、不眠、うつ状態など精神的に不安定な状態が続いているときは、主治医に相談し適切な治療を受けましょう。 |

その他の副作用

その他いろいろな副作用の可能性がありますので、医療スタッフにいつも密に接することが大切です。遠慮は禁物です。

日常生活では次のような点に注意しましょう。

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 下痢 | 脱水予防のため、水分補給を心がけましょう。 |
| | 排便時は、肛門周囲を清潔に保ちましょう。 |
| | トイレに行く習慣を付けましょう。 |
| 便秘 | 生活の改善や適度な運動をするよう心がけましょう。 |
| | 冷たい飲み物や果物、良質の脂肪を少しどって便通を刺激する方法も効果的です。 |
| 口内炎 | 治療前に虫歯を治し、常に口腔内を清潔に保ちましょう。 |
| | 歯ブラシは柔らかいものを使いましょう。 |
| | こまめにうがいをしましょう。 (口内炎用のうがい薬があります。) |
| 出血 | ケガや打撲に注意しましょう。 |
| | かみそりは使わずに電気かみそりを使うようにしましょう。 |
| | 歯磨きにはデンタルフロスは使わないようにしましょう。 |
| | 正座は脚を圧迫するので避けましょう。 |

※ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。
さらに詳しく知りたいときは、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

副作用を軽くさせるために

ブリプラチニ[®]による副作用を軽くさせるために、次のようなおくすりを使うことがあります。

輸液（生理食塩液、ブドウ糖食塩液、その他電解質の補液）

ブリプラチニ[®]による腎臓への影響を防ぐために、治療開始前から治療後の間点滴をします。大量の点滴をすることで尿の量を増やします。

利尿剤

尿量が少ない場合、腎臓に影響を与えてします。それを防ぐために尿の量を増やし、お薬の排泄をうながすお薬です。

制吐剤

抗がん剤のはき気、おう吐を防ぐためにあらかじめ点滴します。気分が悪くなったときに飲むこともあります。

デキサメタゾン注

制吐剤と同様に抗がん剤のはき気、おう吐を防ぐためにあらかじめ点滴することができます。

チェック！こんな時は我慢しないで連絡を

治療後数日～数週間で現れることのある症状

- 熱がある
- さむけがする
- のどが痛い
- せきが出る
- 排泄時に痛みがある
- トイレが近い
- はき気やおう吐がひどく飲食できない
- 下痢がひどくてつらい
- 手足がしびれて生活が不自由



がまんしないで連絡を

■病院名

●TEL :

●担当医師名

■緊急連絡時

TEL :

携帯電話 :

治療の記録

| 日付・曜日 | 治療・副作用などの症状 |
|-------|-------------|
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |

治療の記録

| 日付・曜日 | 治療・副作用などの症状 |
|-------|-------------|
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |

治療の記録

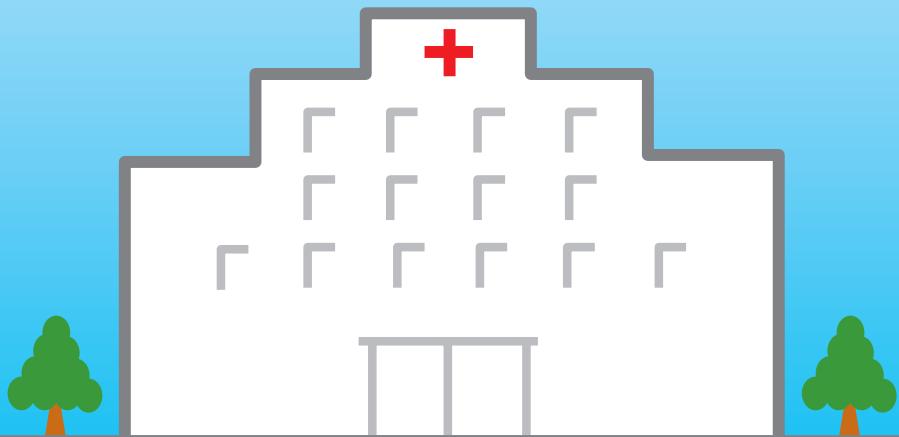
| 日付・曜日 | 治療・副作用などの症状 |
|-------|-------------|
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |

治療の記録

| 日付・曜日 | 治療・副作用などの症状 |
|-------|-------------|
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |

治療の記録

| 日付・曜日 | 治療・副作用などの症状 |
|-------|-------------|
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |
| / () | |



お名前

病院名

主治医氏名

病院の連絡先

緊急連絡先

メモ

提供



Bristol-Myers Squibb
ブリストル・マイヤーズ スクイブ

BP/16-06/0016/18-05